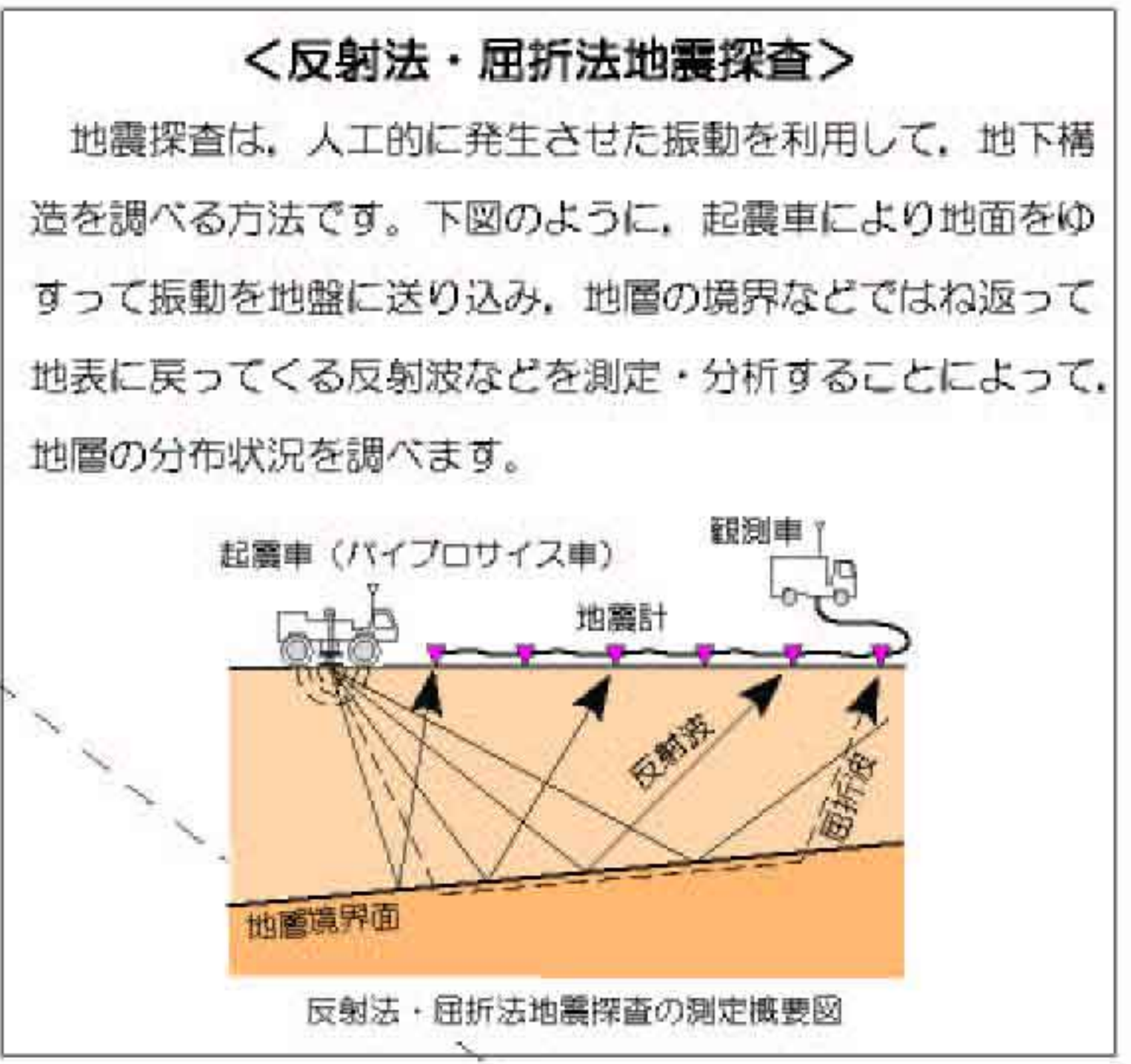
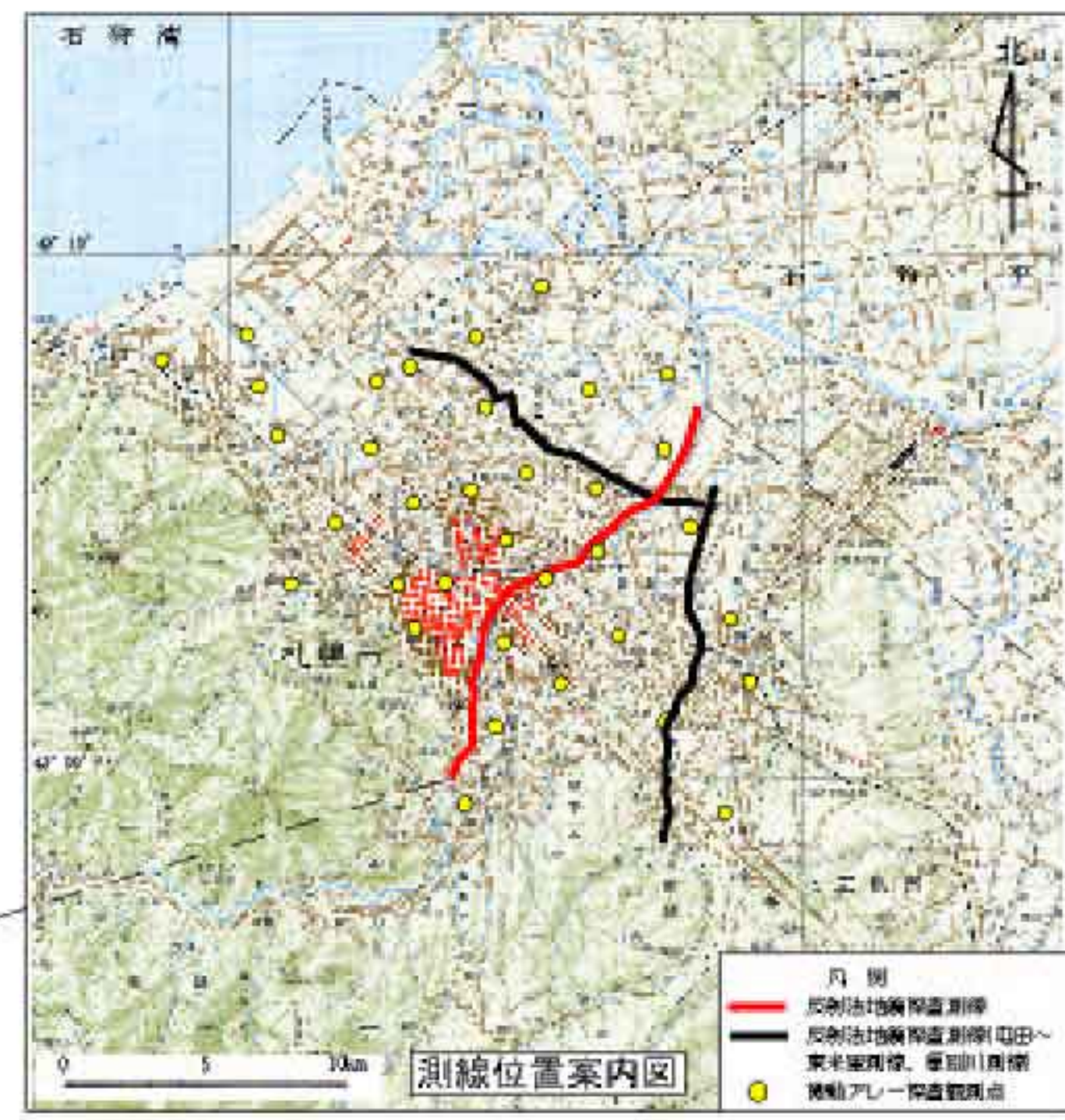


**反射法地震探査結果
(豊平川測線)**

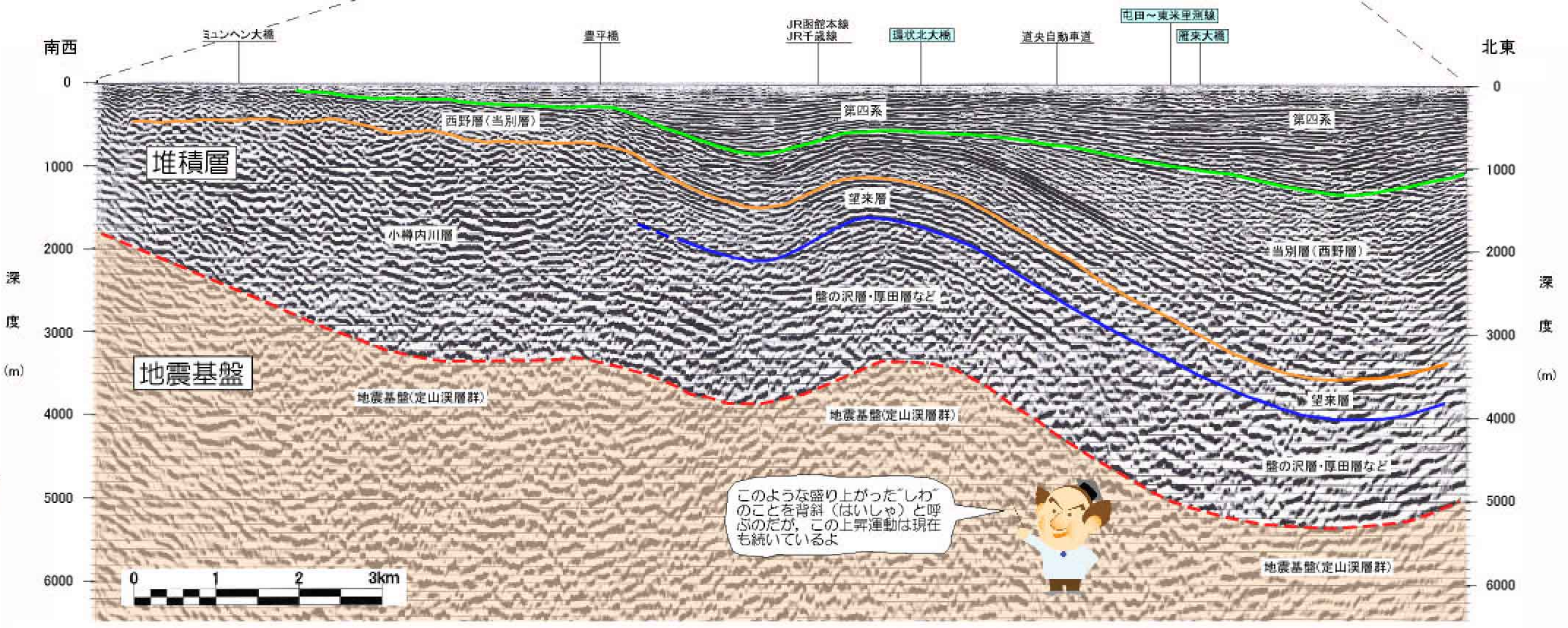
豊平川に沿った地下の構造です。地震基盤（定山溪層群）は豊平川上流から下流に向かって次第に深くなっていきます。

環状北大橋付近では、地震基盤やその上の地層に盛り上がり（しゅう曲）が見られます。雁来大橋の北側では、しゅう曲によって地層が大きく沈み込み、地震基盤の深さは5,200m程度と推定されます。

※しゅう曲：堆積当時水平だった地層が、地殻変動などのため波状に曲がる現象、または曲がった状態のこと



地震基盤とは堆積層の下にある固い岩盤のことで地震発生の源になるんだよ



このような盛り上がったしゅう曲のことを背斜(はいしゃ)と呼ぶのだが、この上昇運動は現在も続いているよ

